



子どもが分かる授業をめざして

研究テーマを達成させるために、以下のことを中心に取り組みます。

すすんで学ぶ子—分かる授業づくり—

確かな学びを身につけさせるために <算数科を窓口として>

習得

「分かる」授業のあり方

「分かる」子どもの姿

①

あ、やろう

子どもとめあてを立てます。
今日の授業はこれをやるんだね。

○学習課題をつかみ、教師と共にめあてを立てることができる。

②

んがえよう

自分の考えをもてるようにします。
今まで学んだことを使って考えよう。

○問題解決の見通しをもって、自分の考えをノートに書くことができる。

③

がきあおう

みんなで学びあいます。
自分の考えをみんなに伝えよう。

○自分の考えを友達に分かりやすく伝えることができる。

④

からがついたかな

本時の学習のまとめを書きます。
こんなことが分かったよ。

○めあてに対して、分かったことや感想を書くことができる。

学びの充実

分かったぞ！もっと取り組みたい！じっくり考えたい！違う考えを知りたい！

活用

学んだことを自分のものとして、次の学習、他の学習で活用

学びの基礎・基本

脳の活性化 ぐんぐん学習

- ・音読、書き取り、計算等の繰り返し練習を通して基礎学力を付けます。
- ・語彙力を増やします。

学習の基本の定着・基礎学習の充実

- ・学習にのぞむ真剣な姿勢・はりのある声での返事や発表をめざします。
- ・家庭学習を充実させ、学習の定着を図ります。

発達支援教育（褒めてやる気を出させる指導）



学ぶ力を付けるための基盤



思いやりのある子

- 道徳教育の充実—
実践力のある子を育てます。
- 楽しい学級・学校づくり—
よい人間関係が育ち、心が通い合う学級学校をつくります。

健康でたくましい子

- 規則正しい生活習慣—
生活の振り返りを定期的にし、「早寝・早起き・朝ご飯」を呼び掛けます。
- チャレンジする心—
めあてをもち活動できるようにします。